

ふしみサラダボール子育て情報

「感性豊かに」

令和6年10月9日号

板橋富士見幼稚園



素直な気持ちを伸ばそう

3歳までの子どもたちの姿を毎日見ていると、とても素直で、目に留まるものに引き寄せられて、すぐに遊び出す姿があります。規制や怖さをまだ知らない子どもは、好奇心いっぱい、何でも見つめたりすぐに触ったりしなから、知恵を吸収して学ぼうとする力を、出来る限り保証してあげたいですね。

お家でも、子どもが「やりたい」と言葉で伝える前に行動する姿を見てみてください。時にためらい、時に見つめ、そして語り掛けるなど、自ら関わろうとする姿に感心しますよ。将来、何でも自分から積極的に関わろうとする力を、こんなに小さな時から身に付けているのです。

よほどの危険がない限り、是非、やりたいことをさせてあげてほしいと思います。

あるエピソードをお伝えします。

皆様のご家庭には、もくもくと煙の出る加湿器がありますか。このような加湿器に手をあてて、煙を掴もうと何度も挑戦する3歳の妹を見ていた5歳の姉が、台所からお鍋とおたまを持ってきて、加湿器の上に鍋を乗せてがしゃがしゃとおたまでかきまぜ、クッキングが始まりました。2人は何やら語り合いながら、妹が鍋に水を汲みに行き、次第にエスカレートしてきて、加湿器の周りには加湿器のしずくと汲んできた水とで、水浸しになってしまいました。子どもの発想力の姿に驚かされた場面でした。

子どもが身近なモノを見たり聞いたりすると、表象（思い描くこと）する力が強く働き、そこに想像力が大きく関わり、「したい」「行きたい」「食べたい」「やりたい」と言う衝動が心をかき立てます。規制するより容認してあげることの方がずっと子どもの可能性を豊かに伸ばすことができます。五感の体験をさせていくことは、人としての豊かさを身に付ける秘訣です。



【10月の運動会に向けて身体を動かす楽しさを味わいながら練習をしています】